

各WGにおける検討項目について

□ 令和3年度の基準・国際検討WGで予定している主な検討事項は以下のとおり。

項目	令和2年度	令和3年度
事業実施のためのBIM/CIM基準要領等の改定	<ul style="list-style-type: none"> 「構造物モデルの作成」から「事業の実施」に主眼を置くBIM/CIM活用ガイドラインへ再編 詳細設計における3次元モデルの納品仕様を「3次元モデル成果物作成要領」により明確化 	<ul style="list-style-type: none"> ICT施工で活用可能な設計3D仕様の検討 設計で活用可能な測量3D仕様の検討 地質リスク等を後工程へ引き継ぐ手法の検討 既存基準・要領等の継続的な見直し
ISO19650に基づくプロセス改善	<ul style="list-style-type: none"> 「土木工事等の情報共有システム活用ガイドライン」の改定 BIM/CIM関連のISOの策定状況の報告 今後国内に展開すべきISOについて整理(特にプロセスに関する事項) 	<ul style="list-style-type: none"> 並行事業間における情報共有等データ管理手法の検討 ISOに則ったプロセスを実施している海外事例の調査
国際動向への対応(IFC関係)	<ul style="list-style-type: none"> bSIサミットにおけるIFC検討状況の報告 国内における対応状況の報告(IFC、LandXML) 	<ul style="list-style-type: none"> bSIサミットにおけるIFC検討状況の報告 国内における対応状況の報告(IFC、LandXML)

□ 令和3年度の実施体制検討WGで予定している主な検討事項は以下のとおり。

項目	令和2年度	令和3年度
適用事業の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に原則適用とする対象の整理 モデル事務所におけるBIM/CIM監理業務等の実施状況報告 	<ul style="list-style-type: none"> 対象拡大に向けた進め方の検討 モデル事務所におけるBIM/CIM監理業務等の実施状況報告
3次元を主とする契約方式の検討	<ul style="list-style-type: none"> 試行結果を踏まえ、3次元データを契約図書とする場合の課題分析 当面2Dと3Dを併用する場合における3Dの成果物の要件について明確化 3次元データによる建造物の出来形検査手法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 試行結果を踏まえ、3次元データを契約図書とする場合の課題分析（主に土工） 3次元データによる建造物の出来形検査手法の検討（継続）
新たな積算方式の構築	<ul style="list-style-type: none"> BIM/CIMモデルにより積算を行う場合の課題分析、対応案検討 	<ul style="list-style-type: none"> 現場実証を踏まえ、BIM/CIMモデルの積算により効率化が見込まれる箇所の整理 自動数量算出を積算システムと連携させるための手法の検討（積算コード等）
受発注者の教育	<ul style="list-style-type: none"> BIM/CIM技術者に必要な能力の明確化 各地整等において今後実施する研修プログラム、研修テキストの作成 国総研DXセンターのシステム構築 	<ul style="list-style-type: none"> 研修コンテンツの更新及び拡大 国総研DXセンターのシステム構築・運用開始